

令和 2 年度
横浜市立高等学校
及び
併設型中学校
学校関係者評価書

横浜市立横浜商業高等学校

調査全体の日程

調査日：令和3年3月12日 ～ 4月9日

調査対象校：横浜市立横浜商業高等学校

調査チーム：大澤 正俊 横浜市立大学国際商学部 学部長
大津 幸雄 南区社会福祉協議会 会長
山崎 直宏 南区青少年指導員協議会 会長
岡本 和子 南保護司会 会長
中川 正成 横浜商業高等学校PTA 会長

本校担当者 校長 磯部 修一
校長代理 増田 亨
副校長 青木 恒夫
副校長 清田 英美
主幹教諭 杉崎 敬一
教諭 阿部 英俊

記録等担当者 阿部 英俊

1 第3期横浜市教育振興基本計画の推進状況

□魅力ある高校教育の推進状況について

《商業科》

- ・高大連携の取組みを、今後も広めて続けていくとよい。
- ・商業科の専門性を全国商業高等学校協会の検定をはじめ、各種検定試験の合格という結果で令和2年度も示されていることを評価する。
- ・感染予防に努めながら、引き続き企業や大学との新たな連携を模索してほしい。
- ・地域とのかかわりを課題としてあげているが、令和3年度には何らかの取組みがなされることを期待している。
- ・校外の検定・資格の取組みのさらなる拡大に期待している。
- ・専門学校との連携により、各種検定や公務員受験講座等の開設は今後の課題ともなり、学習への効果的な活動となると思われる。
- ・家庭学習の大切さを取り上げ、一人ひとりの学習について検討をお願いしたい。
- ・商業科は、横浜市、神奈川県を誇りとする伝統校であり、すべての高等教育の模範校といえる。それに甘んずることなく、横浜市立大学との連携や産業との連携により、大きな実績を残していると聞いているが、地域との関りも大事だと思われる。

《スポーツマネジメント科》

- ・これまでは話題性もあり人気があったようだが、入学者選抜試験における倍率の向上があまり出ていないことが心配である。
- ・教育目標として掲げられている「スポーツとそのマネジメントにかかる能力の育成」について、各種スポーツ関連業界に協力をしてもらい、講演会・体験会を実施している点を評価したい。
- ・保護者に学校の様子が伝わらないことが多いという課題が昨年と同様にあがっていることについては、ぜひとも令和3年度には課題解決に向けて更なる取組みを検討していただきたい。
- ・進学希望者と就職希望者は、科の中で分けるのではなく全体をコース分けしたうえで、その中に商業科・スポーツマネジメント科・国際学科というように分けられるのであれば、そのように分けたほうが良いと思われる。
- ・進路指導に力を入れていることが感じられる。
- ・担任の指導が行き届き、生徒に応じた受験方法で進路が決定されたことは良かったと思われる。
- ・横浜商業高校がスポーツに力を入れていることは今に始まったことではなく、どの大学でもスポーツに力を注いでいる。スポーツの分野も幅広くなっているので頑張っていたいただきたい。伝統ある横浜商業高校硬式野球部に期待したいと思っている。

《国際学科》

- ・生徒の主体性を感じることができる。担任との関係性も大事だと聞いている。課題については、よく考えていることが伝わる。
- ・教育目標の「自主自立の精神を培う」ことに関する成果が表れていると思われる。
- ・令和2年度はコロナ禍にあり、国際的な取組みが計画通りにできなかったことは致し方ないと思われる。しかし、令和3年度も新型コロナの状況が収束するかは不明であり、こうした状況の中でぜひともオンラインを活用したり、国内でできる身近な国際化の取組みを検討していただきたい。
- ・商業科同様、外部検定・資格試験をさらに推し進めていただきたい。
- ・生徒の課題発見にともない、学校はオンラインによる外部検定試験を実施したことについては、今後も外部検定試験への関心の高まりに期待したい。
- ・国際学科の必要性は理解しており、必要性は今後ますます高まると思われる。生徒には、しっかりと学んで、知識を身につけてほしいと思う。

2 教育活動の状況

□教育課程、教科指導の状況について

- ・今の時代、授業等でのプロジェクターの活用は重要で、効果的であると思う。
- ・科目設定やカリキュラムに対して、生徒、保護者の満足度が上昇している点を評価したい。引き続き、新カリキュラムでも生徒にとって魅力ある授業内容となるように検討をお願いしたい。
- ・数学科の登校自粛期間中に動画配信し、その動画視聴率が2割程度あったとのことだが、コロナ後も動画やオンライン配信は、教育ツールの一つとして活用されることになると思われる。今回の経験を活かし、動画を活用した教育(特に予習や復習教材として)の検討をお願いしたい。
- ・進学希望者と就職希望者の両方がクラス内に存在する場合、途中でコース変更を希望する生徒の扱いが難しいと思うが、完全にクラス分け・コース分けをきっちりしておくほうが学校も対応しやすいと思われる。
- ・「希望した進路に進むために必要な科目や興味・関心を満たす科目が設定されている」という質問項目に対する生徒の答えや、保護者も進路指導に役立っているとの答えがあることから、今後も続けて指導していただきたい。
- ・横浜商業高校の初代校長美澤進先生の遺訓や教育理念は、今日でも生かされていると思われる。

□特別活動、部活動の状況について

- ・今後は、生徒会活動や部活動にPTAやおやじの会で協力できることがあれば、交流が持てればよいと思う。
- ・令和2年度も生徒の主体性意識が若干低い点を課題としてあげ、引き続き改善に向けて取り組んでいるということで、心強く感じる。ぜひとも、具体的な改善策を検討していただきたい。
- ・特別活動に皆が賛同するようになるとよいと思う。
- ・令和2年度は、コロナ禍の中、生徒会活動に工夫を凝らし、活動できたことは大きな成果だと思われる。
- ・地域との関係も欠かすことができないと感じている。幼少から老年まで幅広い対象があり、自分たちの住む社会がどうあるべきか、地域から具体的に学んでほしい。

□生徒指導、教育相談、進路指導、保健指導、環境美化の状況について

- ・この時代における校則について、考えるべきことがあるのではないかと。生徒の主体性との関連性も考えてはどうかと思う。
- ・コロナ禍での就職支援がどうだったのか、生徒のモチベーションはどうだったのかが気になる。
- ・生徒指導、教育相談、進路指導、保健指導、環境美化の状況については、アンケート結果からはすべて良好であると判断している。
- ・新型コロナの影響は、今後、社会の各方面でさらに出てくるように思われる。特に就職・進学指導や健康な心と体を維持するための指導については、教職員の皆さんには御負担をかけるが、最新の情報収集に努めていただき、より細やかな御指導をお願いしたい。
- ・十分に実現できており、今後も続けてほしい。
- ・横浜商業高校の生徒が「まちの美化活動」を行っていると聞いており、地域にかかわる活動には感謝している。生徒とともに地域として活動できることを期待している。

3 学校経営の状況

□教育目標等の設定・実施、組織運営、教職員研修の状況について

- ・生徒理解は重要であり、今後も継続して力を入れてほしい。
- ・コロナ禍においても教育目標に向け、「学びを止めない」意識のもとに、様々な取り組みを行い、成果をあげていることを高く評価したい。
- ・授業における教育目標に対する教員間の意識の差などについては、効率的な先生方の話し合いや情報共有によって、意識の差がなくなっていくことを期待する。
- ・組織運営の中でのメンターチームの実施により、多くの成果があげられている。また、組織再

- 編(進学指導部と就職指導部)により、今後どのような成果が生まれてくるかにも期待している。
- ・教育目標を決め、教育課程の編成を進めてガイドラインを作っているのは、先生たちにとってわかりやすくよいと思われる。その反面、画一的にならないように工夫することが必要である。
 - ・メンターチームに期待している。
 - ・十分に実現できており、今後も続けてほしい。
 - ・各学科それぞれに準じた目標を立てており、学びやすいのではないかと感じている。実施については、それぞれのスペシャリストの指導が大事になるので、指導者は大変だと思うがしっかりとお願いしたい。

□学校経理、施設・設備及び情報の管理の状況について

- ・これからの情報教育には、予算が必要だと思われる。
- ・限られた予算の中で、適切な対応をされていると判断している。
- ・生徒、教職員の安全確保が最優先であり、校舎の耐震性など施設・設備の安全性について調査し、今後の方針を少しでも早い段階で決定できるように努めていただきたい。
- ・経営上の問題もあるだろうが、建物の大規模修繕は避けられない。時々、外壁修繕などを行っているのを見受けられるが、エアコンやエレベーターなどお金がかかるものもある。継続して計画的に行っていただきたい。
- ・十分に実現できており、今後も続けてほしい。
- ・校舎は建設以来年数が経つが、横浜商業高校らしい校舎である。修繕等を行い、維持をしてほしい。

□保護者・地域との連携協力、危機管理、情報公開の状況について

- ・課題に示されているとおりでと思う。
- ・地域連携は重要であり、伝統校として教職員と保護者や地域との交流ができるとよいと思う。
- ・保護者・地域との連携協力は良好であり、危機管理対応と情報公開も適切になされていると判断している。
- ・問題行動対応の初動対応の遅れについては、令和3年度の危機管理の取組みで改善されることを期待している。
- ・地域では、南まつり・桜まつり・ボイスオブユースなど、Y校生にお世話になっている。新型コロナで事業の計画が立たない状況ではあるが、今後もよろしくお願いしたい。
- ・十分に実現できており、今後も続けてほしい。
- ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で学校に行くことができず、学校での生徒の様子や地域での活動に接することができなかつたのが残念である。

4 いじめへの対応に関する項目

□いじめへの対応について

- ・いじめのない学校だと感じている。今後も細かい対応が必要である。
- ・いじめ防止に向けた学校の対応は適切であると判断している。無記名式のアンケートでは、把握しきれない部分が多々あると思われるが、引き続き、人権にかかわる問題として丁寧な指導と対応を希望する。
- ・高校にもなって「いじめ」という気もするが、時代なのでしょう。学校でも大変だと思うが、環境づくりに努めていただきたい。
- ・十分に実現できており、今後も続けてほしい。
- ・横浜商業高校でのいじめについては、何も聞いていない。